

平成 22 年度 予算要求事業調書

1 予算要求事業の概要

事業名(予算の事務事業名)				区分
7	親の学習事業(生涯学習総合センター管理運営事業)			新規 拡大 継続
会計区分	款	項	目	所管
一般会計	10	6	2	教育委員会事務局 生涯学習総合センター
事務事業の位置付け				
しあわせ倍增プラン2009	番号	23 - 4	事業名	親の学習などのアドバイザー育成・親育ち支援策
総合振興計画新実施計画	事業コード		事業名	
根拠法令等				
予算要求事業の概要				
内容	親自身の学習を支援し、親同士の交流を図るため、平成22年度中に、市民や有識者などからなる親自身の学習のあり方を検討する委員会を設置し、その意見を踏まえ、親の学習プログラムを作成します。 平成23年度は、親の学習などのアドバイザーを育成し、親の学習講座(子育てパパ・ママ向け講座)をモデル的に実施し、平成24年度には、すべての公民館に拡大して実施します。			
目的・目標	<p>&lt;目的&gt; 親の子育ての負担感の増加や子どもの教育の仕方がわからないなど、家庭・地域の教育力の低下に対応し、子育てで不安の解消や親としての成長をサポートすることを目的としています。</p> <p>&lt;目標(平成24年度末)&gt; 1 親の学習プログラムの作成 2 親の学習などのアドバイザーの育成 3 親の学習講座(子育てパパ・ママ向け講座)の実施 全公民館で実施</p>			
現状と課題	<p>&lt;現状(平成21年度末見込み)&gt; 1 親の学習プログラム 未作成 2 親の学習などのアドバイザー 育成していない 3 親の学習講座(子育てパパ・ママ向け講座)の実施 5館で実施</p> <p>&lt;課題&gt; 親の子育てに対する負担感の増加や子どもの教育の仕方がわからないなど、家庭・地域の教育力の低下が問題となっています。そのため、子育てに不安や悩みを持つ親や、子育てについて無関心な親などに対して、きめ細かな支援が必要となっています。 また、親の参加を待つだけでなく、学校との連携による親の学習講座の実施や、市内の企業向けの出前講座など、行政から積極的に親に向くことも必要となっています。</p>			
今後のスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年度 親の学習の検討委員会の設置 親の学習プログラムの作成</li> <li>平成23年度 親の学習などのアドバイザーの育成 親の学習講座(子育てパパ・ママ向け講座)をモデル実施</li> <li>平成24年度 親の学習講座(子育てパパ・ママ向け講座)を全公民館に拡大して実施</li> </ul>			

2 予算要求の内容と査定結果

(単位：千円)

区分	金額	備考
平成21年度	当初予算	0 <積算内訳>
	財源内訳	
平成22年度	当初予算要求	2,189 <積算内訳> 1 親の学習の検討委員会の運営 1,165 2 親の学習プログラム集・啓発用リーフレット作成 1,024
	財源内訳 一般財源	2,189 <要求理由> 市民や有識者などからなる親自身の学習のあり方を検討する委員会を設置し、その意見を踏まえ、親の学習プログラムを作成するために必要な経費を要求するものです。
	財政局長査定	496 <査定内容> 1 親の学習の検討委員会の運営 496 2 親の学習プログラム集・啓発用リーフレット作成 0
	財源内訳 一般財源	496 <査定理由> 広報・啓発冊子等の経費については、プログラム作成が先決であることから、予算化を見送りました。
	市長査定	496 <査定内容> 同上
	財源内訳 一般財源	496 <査定理由> 財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。